

未来の図書館 研究所 調査・研究レポート シリーズ (発売：樹村房)

2017年より定期刊行物として発行していた『未来の図書館 研究所 調査・研究レポート』を書籍としてシリーズ化しました。●編集・発行 未来の図書館 研究所 ●B6判・並製 ●定価(本体2,000円+税)

最新号

図書館と知識社会



未来の図書館 研究所 調査・研究レポート 2023 (第7号)



■図書館と知識社会

シンポジウムテーマの趣旨

永田 治樹

講演「電子リソースのナレッジベースと知のオープン化」

片岡 真

講演「ウェブスケールディスカバリーと知識社会」

飯野 勝則

■時代に対応する図書館をどう作るか

—アメリカの実践から考える

豊田 恭子

■コレクションづくりに関する一考察

大串 夏身

■広域連携による電子図書館

—きくち圏域・たまな圏域・ありあけ圏域の事例から—

磯部 ゆき江

■知識社会と公共図書館：「IFLA-UNESCO 公共図書館宣言 2022」が投じた課題

永田 治樹

●ISBN 978-4-88367-396-4

●2024年5月30日刊行 ●232頁

シリーズ既刊

図書館とコミュニティアセット

未来の図書館 研究所 調査・研究レポート 2022 (第6号)



■図書館とコミュニティアセット シンポジウムテーマの趣旨(永田 治樹), 講演「地域の情報とは～図書館とコミュニティアセット～」(井上康志/藤山 由香利), 講演「コミュニティアセットとしての歴史・文化, そしてデジタル」(後藤 真)

■「地域の記憶を 地域の記録へ」地域住民と歩む北摂アーカイブスの取組み

青木 みどり

■クラウドソーシングが不可能を可能にする～ライドシェアから図書館まで～

森嶋 厚行

■永末十四雄の仕事 —地域の記憶と記録を未来に残した図書館人

磯部 ゆき江

■コミュニティアセットとしての古典籍

増井 ゆう子



●ISBN 978-4-88367-381-0 ●2023年5月30日刊行 ●221頁

図書館とポスト真実

未来の図書館 研究所 調査・研究レポート 2021 (第5号)



■図書館とポスト真実 シンポジウムテーマの趣旨(永田 治樹), 講演「フェイクニュースはなぜ拡散するのか?」(笹原 和俊), 講演「ニュースが『つくられる』現場から」(伊藤 智永)

■図書館におけるファブラボ(メイカースペース)の可能性

渡辺 ゆうか

■持続可能な社会づくりと読書 ～「利他」で考える読書推進計画の試論

太田 剛

■未来の図書館と著作権法のあり方の検討に向けて —令和3年著作権法改正の意義と課題—

村井 麻衣子



●ISBN 978-4-88367-366-7 ●2022年5月12日刊行 ●181頁

ご注文方法

お近くの書店・ネット書店で注文できます。上記の各号 QR コードまたは樹村房から直接ご注文ください。

▶ 株式会社 樹村房 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-11-7 TEL: 03-3868-7321 FAX: 03-6801-5202

未来の図書館 研究所 調査・研究レポート

未来の図書館 研究所 編集

2017年より定期刊行物として発行しています。当研究所主催シンポジウム記録のほか、未来の図書館を考えるさまざまな論考を収録しています。Vol.1～4は当研究所ウェブサイトにてPDF版を公開しています。下記の各号QRコード・URLからご覧いただけます。冊子体（A4判・並製）をご希望の方には、送料負担*にてお送りいたします。2022年発行のVol.5以降は、書籍としてシリーズ化し、[樹村房](#)より発売しています。

<p>■ Vol.1 (2017) 目次</p>  <p>■第1回シンポジウム 記録 「図書館のゆくえ ―今をとらえ、未来につなげる」 (渡部 幹雄, 吉本 龍司, 永田 治樹)</p> <p>■研究レポート ・「アクセス解析に基づく公共図書館活動の把握: Google アナリティクスを活用した事例」(牧野 雄二) ・「公共図書館の利用圏に関する研究の発展」(戸田 あきら) ・「図書館の未来を議論する:ALA 図書館の未来に関するサミットと図書館の未来シンポジウム」(永田 治樹)</p> <p>▶ https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/annual_report/report_vol1.pdf</p> 	<p>■ Vol.2 (2018) 目次</p>  <p>■第2回シンポジウム 記録 「図書館とソーシャルインベーション」 (太田 剛, 宇陀 則彦, 永田 治樹)</p> <p>■ワークショップ「図書館員の未来準備」の概要</p> <p>■研究レポート ・「つながりつばなしの日常に、『図書館』をいかに埋め込むか:ソーシャルデジタルライブラリーの設計技法の確立に向けて」(常川 真央) ・「『Webを活用した図書館サービス』を考える」(川嶋 齊)</p> <p>▶ https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/annual_report/report_vol2.pdf</p> 
<p>■ Vol.3 (2019) 目次</p>  <p>■第3回シンポジウム 記録 「図書館とサステナビリティ」 (岡崎 正信, 内野 安彦, 永田 治樹)</p> <p>■第3回ワークショップ「図書館員の未来準備」報告</p> <p>■研究レポート ・日本語の歴史的典籍のアーカイブ構築と活用(増井 ゆう子) ・デジタル世界にいまなにが起きているのか(宇陀 則彦)</p> <p>▶ https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/annual_report/report_vol3.pdf</p> 	<p>■ Vol.4 (2020) 目次</p>  <p>■第4回シンポジウム 記録 「図書館とランドスケープ」 (伊藤 麻理, 森山 光良, 永田 治樹)</p> <p>■第5回シンポジウム 記録 「図書館とレジリエンス」 (柴崎 悦子, 三田 祐子, 永田 治樹)</p> <p>■ワークショップ「図書館員の未来準備」講演レポート 「『ツナガル。』から生まれる図書館の可能性」(豊山 希巳江)</p> <p>▶ https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/annual_report/report_vol4.pdf</p> 

『調査・研究レポート』(Vol.1~4) 冊子体のお申込みは、当研究所「[お問合せフォーム](#)」または、このページを印刷し以下の申込書にご記入のうえ FAX でお申込みください。

『調査・研究レポート』 冊子送付申込書 ▶ FAX : 03-6772-4395

宛名	連絡先 (電話番号またはメールアドレス)						
送付先住所	(〒)						
送付希望部数							
Vol.1	部	Vol.2	部	Vol.3	部	Vol.4	部
通信欄							

* ゆうメールまたはゆうパックの着払いにてお送りします(送料目安:1冊240円, 2冊340円, 3~5冊390円, 6冊以上700円~) 請求書払いなど、着払い以外での対応をご希望の方は通信欄にその旨ご記入ください。

図書館員の 未来カリキュラム

未来の図書館研究所 編

急激な変化を続ける社会と情報環境のなかで、これからの時代を生き残るために図書館員には何が求められるのか。AIなどの先端技術の活用事例、ものづくりや新たな学びの場の試み、図書館と著作権法をめぐる問題、地域の人々との協働など、10のトピックを取り上げ、未来を担う図書館員が身に付けておくべき知識やスキルを伝える。未来の図書館 研究所主催ワークショップ「図書館員の未来準備」で講師を担当された方々が執筆。

— 目次 —

まえがき 永田 治樹

序 章 図書館員に今後求められる知識とスキル 永田 治樹

第1部 図書館のDX

第1章 ウェブ技術の深化とサービスの可能性

川嶋 斉／牧野 雄二

第2章 デジタルメディア・アーカイブ 牧野 雄二

第3章 先駆的技術の図書館サービスへの組み込み

中野 良一／牧野 雄二

第4章 図書館員の視座と文献到達可能性 宇陀 則彦

第2部 新たな図書館・情報サービスの展開

第5章 図書館×メーカースペース——これまでとこれからに向けて
渡辺 ゆうか

第6章 デジタルネットワーク時代の著作権法——未来の図書館員
の意識改革のために 村井 麻衣子

第7章 情報リテラシー支援の取り組み——事例を中心に
磯部 ゆき江

第3部 地域への貢献

第8章 まちづくりと図書館 大串 夏身

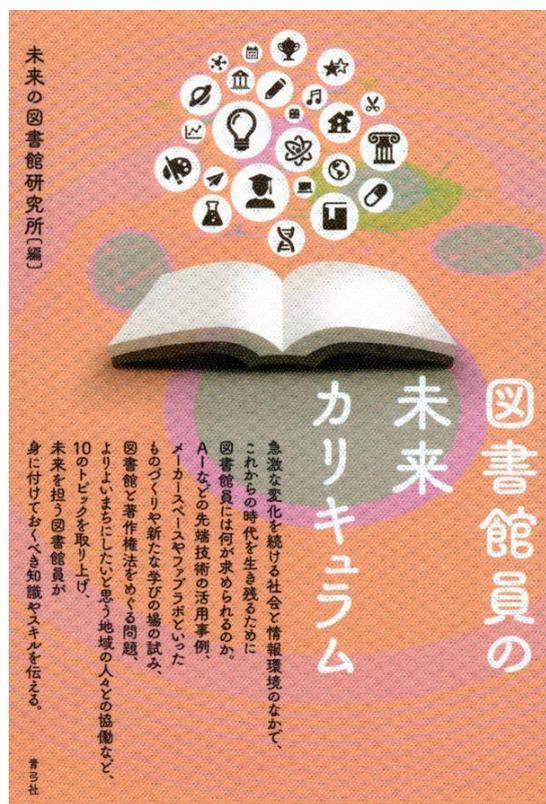
第9章 学校との連携・協働 中山 美由紀

第10章 町と人に寄り添う図書館 手塚 美希

補 章 学び直しの機会と新たな試み 木村 瞳

あとがき 戸田 あきら

付録「ALAコア・コンピテンス 2022」



2023年10月26日刊行
四六判・並製 320頁
定価 2800円+税
ISBN978-4-7872-0084-6

ためし読みは
[こちらから](#)



ご注文方法



お近くの書店・ネット書店で注文できます。

左記QRコード、または青弓社ホームページから直接ご注文ください。

▶ 株式会社 青弓社

<https://www.seikyusha.co.jp/bd/isbn/9784787200846/>